学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の美術Ⅰでは「絵画」「デザイン」を中心に学習します。
夏休みには、美術館で行う「高校展」（大阪府下の高校生が制作した作品展）を鑑賞します。
様々な課題に取り組む中で技法や表現効果について学び、見方や感じ方を深めていきます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深くかかわる資質・能力を育成することをめざす。

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表せることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の糸と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方やかんじかたを深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の造形的な諸活動に取り組み、生涯に美術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・意図に応じて表現方法を工夫し造形的に表している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。 ・造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風、様式などでとらえることを理解している。	・自己、生活など見つめ感じ取ったことから主題を生成している。 ・表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え造形的な表現の構想を練っている。 ・造形的な美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている	・主体的に絵画・デザインの創作活動に取り組もうとしている。 ・美術や美術文化と豊かにかかわり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	はじめに	「絵画」「鑑賞」 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ ・手のスケッチ	a:鉛筆や紙の特性を生かし表現できている。 b:自分の手を見つめ、感じ取ったものを手のポーズやタッチ表現できている。 c:主体的に課題に取り組むことができる。	作品	作品	作品 ワークシート
	色彩の学習	「デザイン」 ・色彩基礎(12 色相環の制作) ・色彩構成(補色色相配色) 補色色相の色彩構成制作	a:ポスターカラーや水彩道具の使用法を理解し制作できる。 色彩理論を理解している。 b:色彩理論を理解し、美しい配置や形を意識して工夫できる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。	作品	作品 アイディアスケッチ	アイディアスケッチ ワークシート
	鑑賞	「鑑賞」 ・高校展鑑賞レポート	a:さまざまな美術の様式や特性を理解している。 b:　表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	レポート	レポート	
後期	木版画	「版画」 ・一版多色版画	a:木版画特性を理解し彫刻刀などの道具を使用できる。 b:自ら主題を設定し、形体や色彩、構成などについて考え造形的な表現できる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。	作品	作品	作品 アイディアスケッチ ワークシート

	切り絵	「デザイン」 ・文字と絵をきり絵で表現する	a:デザインカッターを使用できる。 b:きり絵の表現を理解し、主題を設定し、デザインを考え、造形的な工夫をすることができる。 c:主体的に課題に取り組むことができる。	作品	作品	アイディアスケッチ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度